

「平成 30 年東白川村成人式」式辞

輝かしい平成 30 年の新春に人生の大切な節目であります成人式を迎えられた皆さん、「成人」誠におめでとうございます。今日まで皆さんを深い愛情で見守り育てて来られましたご両親様をはじめご家族の皆様にも心からお慶びを申し上げます。

年始ご多用の中、御出席を賜りました御来賓の皆様、そして新成人がお世話になった恩師の先生方、村の次代を担う新成人のお祝いの日華を添えていただきましたこと厚く御礼申し上げます。また、本日の式典後に開催されます記念会食会を企画運営していただきます東白川村商工会青年部の皆様にも深く感謝申し上げます。

さて新成人のみなさん、あなた方が今まで生きてきた 20 年間にどんなことがあったのでしょうか。

保育園への入園……

ようやく自分の名前がひらがなで書けた時の喜び……

満開の桜の下での小学校・中学校への入学……

修学旅行や運動会等々楽しかったことや悲しかったこと、悔しかったこと、色々な思い出を仲間と共に分かち合ってきました。

そして、決意も新たに中学校を卒業し、今はそれぞれの道に挑戦しています。

今日はその仲間たちと再び集い、今年から社会的にも独り立ちの立志の日でもあります。人間は社会をつくり、一人ひとりの権利とそれと同等の重さの義務を持たなくてはなりません。そのことを自覚し、決意する日であります。

そして、大切なことは、成人になるという意味を皆さん一人ひとりがその胸に問いかけ、今日を境に成人として生きていく何十年という歳月に想いを馳せ自分の人生の目標を立てることです。だれも目標の無い人生など生きてはなりません。それが、人間としての生きる道であると先人は教えてくれています。そのことに気付いて生きるか、何も考えずに生きるかで人の生きていく道が大きく分かります。

「仕事は生活の方便ではない、生活の目的であり、働くことが人生の価値であり、人生の歓喜である」有名な彫刻家・ロダンの言葉です。

健全な精神は健康な身体によって保たれます。どうか、ご両親から授かった身体を大切にしてください。そうして、自信を持ってそれぞれの人生を切り拓いて行ってください。

私たち東白川村民は、皆さんが育ったこの故郷の自然と文化・伝統をしっかりと守り次代に引き継いで行きます。東白川村がいつまでも皆さんの心に故郷として残り続けることを願って止みません。

結びに、新成人の皆さんの前途に幸多からんことを心からお祈りし式辞といたします。

平成 30 年 1 月 7 日

東白川村長 今 井 俊 郎